

中外新聞

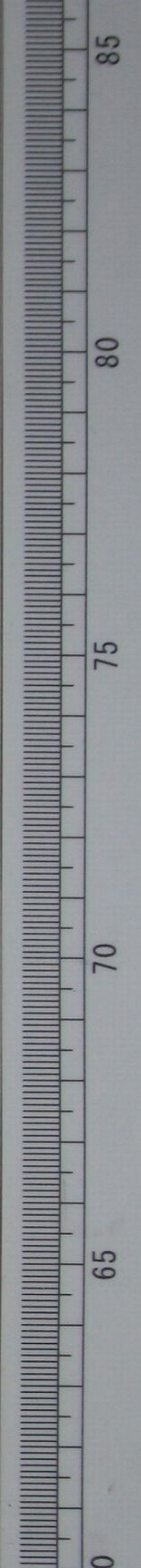
外篇

十六



定價一匁

西垣文庫 時
文庫 10
7328
16



文庫10
7328
16



中外新聞外篇卷之十六、慶應四年五月

○横濱新聞ヘラルド第三百三拾号抄譯

布告

此程夜間^{いんちやう}窃^{ひそかに}軍器を陸上^{りくじやう}けし又船積^{ふねづみ}を有^あ之^を以^{もつ}由^{よし}以後^{いご}右^{みぎ}松^{まつ}の元^{もと}の有^あ之^を以^{もつ}條^{じょう}約^{やく}面^{めん}に從^{したが}ひ嚴^{げん}重^{じゆう}に召^{めい}捕^と可^べし^の旨^{さし}日本^{にっぽん}役^{やく}人^{にん}より^{より}越^こし^の以^{もつ}依^よ之^を此^{こゝ}段^{たん}中^{ちゆう}達^{たつ}に必^{かなら}ず^ん心^{こゝろ}得^え違^{ちが}有^あ之^を間^ま敷^{しき}の事^{こと}

千八百六十八年第六月十三日 我^{われ}閏^に四^よ月^{がつ}廿^に三^{さん}日^{にち}

於^お神^{かみ}奈^な川^{がわ}

一巻之十六

六



英國女王殿下のコンシール

フチラン・イレクトル

○日本役入より達書

軍器并外品等夜中竊^{いさ}る海岸筋^{いさ}にかいて陸上げ又ハ船積致
し以我の風聞有^{いさ}之^{いさ}以来右振の^{いさ}有^{いさ}之^{いさ}は於て^{いさ}見掛次
第無用給召捕以上夫々のコンシールへ引渡可^{いさ}し併^{いさ}あ^{いさ}ら
若^{いさ}し其^{いさ}の兵器を携^{いさ}へ召捕の役人共へ手向^{いさ}ひ致^{いさ}し以^{いさ}て
仮^{いさ}令^{いさ}手荒^{いさ}の處置^{いさ}よ及^{いさ}ひ^{いさ}て不^{いさ}苦^{いさ}は旨市中取締役へ達
置^{いさ}は然^{いさ}り上^{いさ}の双方手傷^{いさ}の儀も難計^{いさ}は万何卒右等の罪科を
犯^{いさ}を^{いさ}の無^{いさ}之^{いさ}振精^{いさ}と貴国臣民へ此告諭^{いさ}有^{いさ}之^{いさ}度存^{いさ}以^{いさ}依^{いさ}之^{いさ}此

段中進^{いさ}謹言

千八百六十八年第六月十二日 我聞四月廿二日

東久世中將

肥前侍従

英人イル子ストサトウ訳

○雜説

亞墨利加国大統領ジョンソン何等の事^{いさ}又^{いさ}は我相手取られ
吟味^{いさ}あり^{いさ}一^{いさ}処^{いさ}追^{いさ}一^{いさ}塔^{いさ}明^{いさ}第^{いさ}四月^{いさ}廿^{いさ}日^{いさ}訴訟^{いさ}方^{いさ}問^{いさ}書^{いさ}出^{いさ}同^{いさ}廿^{いさ}二^{いさ}
日^{いさ}相手^{いさ}方^{いさ}答^{いさ}書^{いさ}極^{いさ}り^{いさ}以^{いさ}一^{いさ}処^{いさ}訴訟^{いさ}方^{いさ}證據^{いさ}不^{いさ}分^{いさ}明^{いさ}と裁判^{いさ}行^{いさ}り^{いさ}て来^{いさ}
る^{いさ}第^{いさ}五月^{いさ}二^{いさ}日^{いさ}マ^{いさ}ス^{いさ}ト^{いさ}ル^{いさ}ダ^{いさ}ヒ^{いさ}ス^{いさ}訴訟^{いさ}方^{いさ}の^{いさ}吟^{いさ}味^{いさ}詰^{いさ}り^{いさ}渡^{いさ}有^{いさ}

之由但此落着の事も無程ニヨルクよりの便りより越
さへきあり

○四月廿一日神祇局并兵庫裁判所ハ沙汰の趣
大政更始の折柄表忠の盛典ニ為行天下の忠臣孝子を勸奨
ニ遊ハ付て楠贈正三位中將正成精忠節義其功烈万世ニ
輝キ真ニ千載の一人臣子の龜鑑ニ故今般神号を追諡
社檀造管ニ遊度 思召ヨ依之金千兩寄附ニ為在事
但正行以下一族の者等鞠躬尽力其功勞不少段追賞ニ遊
合祀可有之旨ニ 仰出事

別紙の通楠社造管ニ 仰出ハ付て天下有志のハ手
傳致一度後中出ハハハ差許ニ相成ハ其地程能可
取計振ニ 仰出事

○四月中公卿并徴士任職のハ沙汰

大原中納言

右笠松裁判所総督ニ 仰出美濃飛騨可為支配事

林 左門

右徴士内国事務局権判事ニ 仰付笠松裁判所在勤可有之事

梅村逸水

右同断注 仰付以事

東久世中将

右英吉利佛蘭西等漏生伊太里魯西亞和蘭陀右六箇国へ使節とて渡海可致旨注 仰出以事

安井和介

右徴士内国事務局権判事注 仰付新泻裁判所_{（新泻）}在勤可有之事

滋野井侍従

右佐渡国裁判所総督注 仰出以事

山東一郎

右徴士内国事務局権判事注 仰付箱館裁判所_{（箱館）}在勤可有之事

小野淳輔

右同断注 仰付以事

松方助左衛門

右徴士内国事務局権判事注 仰付長崎_{（長崎）}裁判所_{（長崎）}在勤可有之事

平松甲斐権介

右三河国裁判所総督注 仰出遠江駿河可為支配事

藤村四郎

山本一郎

大橋慎三

右同断注 仰付以事

○山形藩より死傷の者内届

奥羽鎮撫総督九條殿より仙臺表出張重役の者招呼せられ今般庄内征討に付速に手当出兵可致旨申達有之に月四月廿五日一番手人数庄内表に着陣并二番手人数同廿六日出立天童へ相越に処翌廿七日領不長町村へ引戻し同廿八日同断長崎村并寺津村に出張在岡四月四日庄内勢と戦争し及ひに処討死仕に者左の通り

討死

隊長

大久保傳平

同

司令士

赤里守人

同

戦士

松崎竹四郎

同

先手組

加藤雅藏

同

同

原口喜平太

同

同

稻田半兵衛

同

同

前田庄助

深手

司令士

筑井徳次郎

同

医師

中根宗信

同

大砲組

岩永郷七郎

同

稻垣九右門

手負

小者一人

新庄表に兵在に一番手人数并去八日山形城下繰出に三番手人

数壬四月十一日沼山村へ在越庄内勢と戦争及び処討死手負左の通り

討死

先手頭 小林 栄

同

司令士 高宮猪兵衛

同

先手組 柘植卯藏

同

同 永井熊次郎

同

同 鳥居吉次郎

深手

先手組差廻役 高山郡吉

同

戦士 高林吉左工門

右の通澤三位様へ此届り上り段在所役人共より申越り
付猶又此段此届り上り事

